

# NEWS LETTER

## ☆ 平成 23 年度採択された先進医療シーズ

本年度は近い将来先進医療申請が可能なものや PET 高度医療シーズを募集し、先進医療推進委員会で 12 件の研究が先進医療シーズとして採択されました。現在 21 年度、22 年度に採択された先進医療シーズの継続分と合わせて 18 件の研究をバックアップしています。

診療科	責任者	研究題目
感染症膠原病内科	池ヶ谷 諭史	関節リウマチ患者のP糖蛋白測定
神経内科	井川 正道	脳神経疾患における酸化ストレスイメージングを用いた病態解明
消化器内科	根本 朋幸	進行肝細胞癌に対するインターフェロン併用シスプラチン・5-FU肝動注化学療法における治療感受性因子の探索
呼吸器内科	梅田 幸寛	特発性間質性肺炎の病勢および治療反応性評価におけるDual-time-point <sup>18</sup> F-FDG PET画像の有用性に関する検証
循環器内科	中野 顯	心筋梗塞発症早期における <sup>11</sup> C-acetate PETを用いた心筋血流-糖代謝乖離領域の心筋酵素代謝および心筋viability評価の有用性に関する検討
乳腺内分泌外科	前田 浩幸	FES-PET検査による乳がん患者における内分泌治療効果予測に関する研究
泌尿器科	大山 伸幸	PETを用いた腎細胞癌治療における分子標的薬の早期治療効果判定のための臨床的研究
整形外科・脊椎外科	小久保 安朗	股関節部骨切り手術におけるナビゲーションシステムの使用
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	木村 有一	唾液腺腫瘍におけるCu-ATSMの有用性の検討
産科婦人科	津吉 秀昭	<sup>18</sup> F-fluorothymidine(FLT)PET検査を用いた卵巣がん再発症例に対する化学療法の治療効果判定
脳脊髄神経外科	菊田 健一郎	観察機能付き無遮断血管バイパスツールの開発
脳脊髄神経外科	竹内 浩明	グリオーマにおける <sup>64</sup> Cu-ATSM-PETの臨床応用

## 第1回 福井大学臨床研究講習会開催のお知らせ

主な対象者……治験・臨床研究に携わる医師、看護師、コメディカル 他

( ヒトを対象とした臨床研究を実施される方は講習会の受講が必須となっています )

開催日時……8月9日(火) 17:30~18:30

場所……臨床大講義室

題目 『倫理を踏まえた看護研究を進めるために  
—倫理原則と実際の問題点から—』

医学部看護学科 基礎看護学講座  
教授 上野 栄一 先生

## ☆ 治験・製造販売後調査等の年度別受託状況

平成 18 年度から 22 年度の治験および製造販売後臨床試験の契約件数に大きな変化はありませんが、製造販売後調査の契約件数は年々増加しています。この製造販売後調査は使用成績調査、特定使用成績調査、副作用感染症報告等が含まれます。

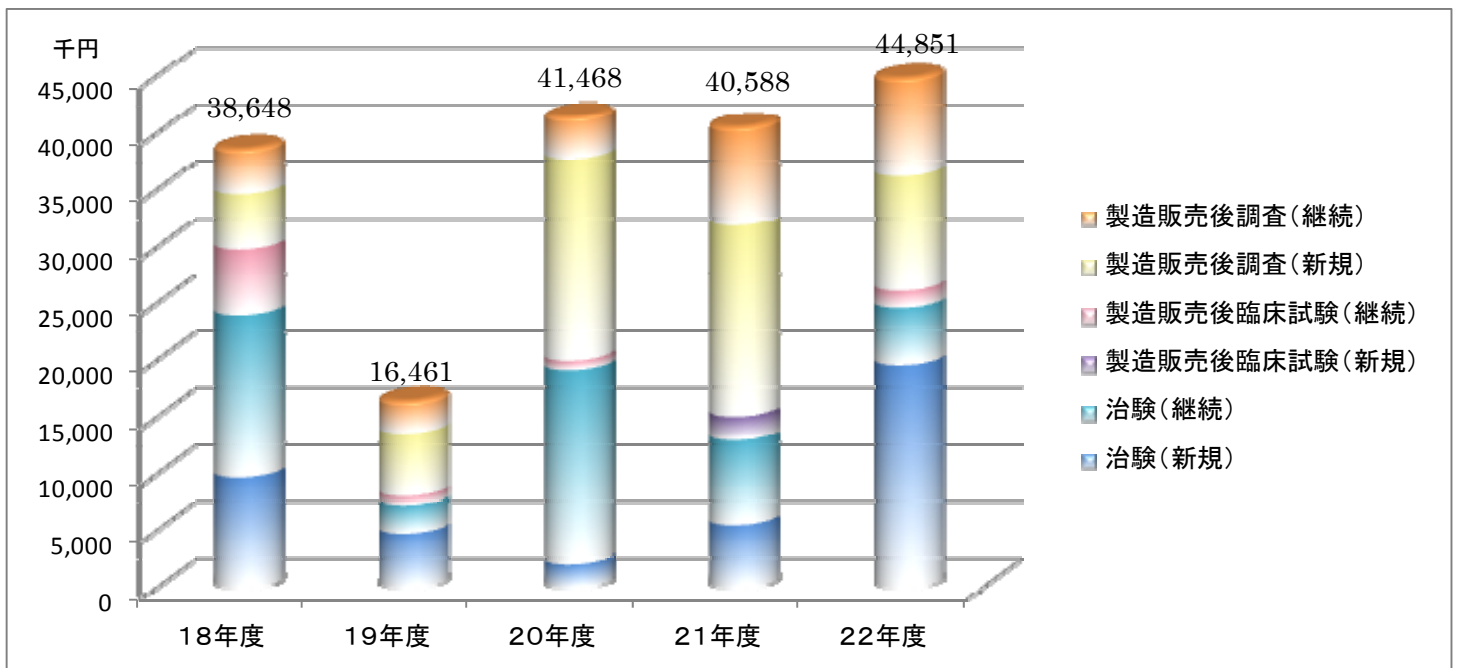
これらの実施により、試験または調査依頼者から受託研究費が福井大学に支払われ、医局等に配分されます。下図に平成 18 年度以降の治験等の受入金額の推移を示します。平成 22 年度は契約件数の合計が最も多かったこともあり、全体の受入金額も過去 5 年間で

最も大きくなっています。治験は製造販売後調査等に比べ件数あたりの研究費の金額が大きいので、全受入金額における治験の占める割合が大きくなります。昨年度の継続を含む治験の契約件数は 12 件でしたが、受入金額の 50%以上が治験による収益でした。

本年度は治験の契約件数が減少しています。治験・先進医療センターでは治験の活性化を図るため、医師のインセンティブ向上等を含めた治験実施体制の見直しを行っていきたく考えています。今後ともご協力よろしくお願いします。

治験等の契約件数

契約件数	治験・製造販売後臨床試験 (継続を含む)	製造販売後調査 (継続を含む)	合計
18年度	14	72	86
19年度	11	102	113
20年度	11	146	157
21年度	14	163	177
22年度	13	207	220



## ☆ 現在募集中の治験(製造販売後臨床試験を含む)

診療科	対象疾患	募集期間
小児科	小児局在関連性てんかん	~2011.9
神経内科	パーキンソン病	~2011.8



### 【お問合せ先】

福井大学医学部附属病院 治験・先進医療センター

電話 0776(61)8529

Email [chiken@ml.cns.u-fukui.ac.jp](mailto:chiken@ml.cns.u-fukui.ac.jp)

Vol.5 No.2 (平成 23 年 7 月)

